

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎	2単位 教養科目	日本文化論	渡邊 淳子 成田 小百合	2年次	秋

授業のキーワード	夏目漱石 近代化 日本の家族 ライフサイクル 家族システム 新しい女
授業の概要	文豪夏目漱石とその家族や文学作品を通して、明治近代化以降の日本の家族の文化や心理特性について学びます。 第1講～第7講まで渡邊担当、第8講～第14講まで成田担当
期待される学習成果（目標）	文学という切り口から、明治近代化以降の日本の家族、夫婦の関わりの変化、今日につながる家族の問題等について把握、考察することができる。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	はじめに	授業内容の説明 明治以前の日本の家庭における女性の地位について見ていきます。	第9講	家族心理学からみた漱石	日本の家族の心理特性
第2講	明治近代化の影響	明治近代化がもたらした様々な社会的影響全般について概観します。	第10講	漱石における家族ライフサイクル①	幼児期～青年期
第3講	女性の意識の目覚め	『虞美人草』、『三四郎』を手がかりに女性の意識の目覚めを見ていきます。特に漱石がテーマとした、無意識の偽善者について、検討します。	第11講	漱石における家族ライフサイクル	成人期
第4講	男性の家族観	男性が抱く当時の家族観を『三四郎』を手がかりに見ていきます。	第12講	漱石夫婦の葛藤1	日本人の夫婦
第5講	女性の意識の向上	『行人』を手がかりに、女性の意識の向上がもたらした夫婦の摩擦と“家族”の変化を見ていきます。	第13講	漱石夫婦の葛藤2	人生の転機と夫婦システム
第6講	第5講と同じ	第5講の続き	第14講	『明暗』にみる夫婦関係	夫婦の和合
第7講	『こころ』の場合	『こころ』を通して旧世界の理念を負って生きてきた近代人故のひとつの家庭悲劇を見ていきます。	第15講	まとめ	夏目漱石を通して見ることのできる明治という近代化がもたらした、個人の葛藤、家族の葛藤、夫婦関係等についてまとめます。また、逆に、個人、夫婦という側面から明治という時代性、文化性を捉えていきます。
第8講	家族心理学からみた漱石	個人と家族の心理学とは？	定期試験		ペーパーテストを行います。
評価方法		試験80%、授業態度20%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
その都度紹介します。			その都度紹介します。		